評価観点表

資料３

	評価の観点	低学年	中学年	高学年
知識・技能	対話促進スキルの理解と実践	相手の考えを最後まで聞いたり、自分の考えを伝えたりすることができる。	相手の考えを相槌を打ちながら聞いたり、わからなかったときに質問したりすることができる	相手の意見を簡潔にまとめ、相手に確認したり、尋ねたりすることができる。
	多様性理解と異文化知識の習得	自分と違う考えや意見があることに気づくことができる。	自分と違う考えや意見について、自分の考えと比較することで、共通点や違いを知ることができる。	自分と違う考え方や意見について、比較したり関係づけたりしながら、共感的に受け入れることができる。
	情報伝達手段の知識と選択	必要に応じて絵や文に表しながら伝えることができる。	相手や目的に応じて絵や文、図などを使いながら伝えることができる。	絵や文、図などを目的や意図に応じて使い分けたり、ICT機器を適切に活用したりしながらわかりやすく伝えることができる。

	評価の観点	低学年	中学年	高学年
思考力等	思考の明確な言語化と論理的表現力	自分の考えを理由とともに伝えることができる。	自分の考えを順序や立場を明確にして伝えることができる。	相手の考えを聞き、自分の考えとの共通点や違いを明確にして伝えることができる。
	傾聴と多角的意見の受容・分析力	相手の考えを最後まで聞くことができる。	自分の考えと同じところや違うところを見つけ、比べることができる。	自分の考えや他者の考えを比較したり、関連付けたりしながら、考えを広げたり深めたりすることができる。
	状況判断に基づく適切な対応・表現力	場や相手に応じて、話し言葉だけでなく丁寧な言葉遣いができる。	場面や相手、目的に応じて、表情や声の調子を変えながら話すことができる。	場面や目的に応じた言葉遣いを行うとともに、相手の思いに寄り添った言葉かけができる。

	評価の観点	低学年	中学年	高学年
学びに向かう力等	協調性と チームワークへの貢献意欲	進んで友達に話しかけ、課題に取り組むことができる。	進んで友達に話しかけ、協働して課題に取り組むことを楽しいと感じることができる。	積極的にコミュニケーションをとり、周りを巻き込みながら課題に取り組むことができる。
	共感的理解と 他者尊重の態度	相手の考えに反応しながら聞くことができる。	相手の考えを反応しながら聞き、共感的に受け入れることができる。	相手の意見を共感的に受け入れ、その考えをもとに自分の考えを伝えることができる。
	コミュニケーションを通じた 自己成長への意識	誰とどのようにかかわったかを振り返り、より多くの他者と関わろうとすることができる。	誰とどのようにかかわり、何を学んだのかを振り返り、達成感や自己肯定感を持つことができる。	誰とどのようにかかわり、何を学んだのかを振り返ることでよりよいコミュニケーションの在り方や表現方法について改善しようとすることができる。